

# 水痘（水ぼうそう）予防接種について

## 病気（水痘）の説明

水痘（水ぼうそう）は、水痘 - 帯状疱疹ウイルスに初めて感染したときにみられる急性の感染症で、直接接触、飛沫あるいは空気感染によって広がる、最も感染力の強い感染症のひとつです。ひとたび感染すると一生、体の中に潜伏感染し、加齢や免疫抑制状態等で再活性化し、帯状疱疹を発症します。

水痘（水ぼうそう）の潜伏期は通常 2 週間程度（10～21 日）です。典型的な水痘（水ぼうそう）は、特徴的な発疹が主な症状でかゆみを伴います。発熱を伴うこともあります。発疹は斑点状の赤い丘しんから始まり、その後 3～4 日は水疱（水ぶくれ）となり、最後はかさぶたを残して治癒します。

通常、1 週間程度で自然に治癒しますが、まれに脳炎や肺炎、肝機能の異常を伴うことがあり、抗ウイルス薬が使用されることもあります。また、皮膚から細菌が感染して化膿したりすることはまれではなく、敗血症などの重症の細菌感染症を合併することもあります。

## 水痘（水ぼうそう）ワクチン（生ワクチン）

水痘 - 帯状疱疹ウイルスを弱毒化してつくった生ワクチンで、このワクチンを 1 回受けた者のうち、約 20%は、後に水痘（水ぼうそう）にかかることがあります。もしかかっても軽くすむとされていますが、確実に予防するためには 2 回の接種を行います。

## 副反応について

副反応はほとんど認められませんが、時に発熱、発疹がみられ、まれに局所の発赤、腫脹（はれ）、硬結（しこり）がみられます。

## 接種時期

標準接種年齢	接種可能年齢	接種回数
1 歳から 1 歳 3 か月	1 歳～3 歳未満	2 回（6 か月以上の間隔をあけて）

注意：既に水痘にかかった方は、接種できません。